

常総市
のじょうそう
市議会議だより

主な記事

一般質問(11月定例会議).....	(2)~(10)
審議された主な議案.....	(10)
11月定例会議の審議案件と結果.....	(11)
行政視察.....	(12)
2月定例会議日程.....	(12)
議長のひとこと.....	(12)

- 責任者 常総市議会議長 風野芳之
- 編集 議会だより編集委員会
- 発行 常総市議会

220号

2018.2.15
発行

常総市の冬の風物詩
—管生沼の白鳥—



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

一般質問

11月定例会議

12/5、12/7の3日間にわたり15人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。
※原則として平成の元号は省略しています。

3. 寺田 洋
TERADA HIROSHI
●常総市の活性化及び知名度アップ策について
○市の街灯管理について
P.4

2. 岡野 一男
OKANO KAZUO
○高齢者急増に伴う施策について
○少子化現象に歯止めをかける施策について
●人口減対策はあるか P.3

1. 中村 博美
NAKAMURA HIROMI
●きぬ総合公園の整備について
P.3

6. 中島 亨一
NAKAJIMA RYOICHI
○防災計画の進捗状況について
○中心市街地の活性化をどうするのか
●野犬、地域猫対策について
P.5

5. 堀越 道男
HORIKOSHI MICHIO
○国保問題について
●水海道有料道路の無料化について
P.5

4. 石川 栄子
ISHIKAWA EIKO
●排水対策について
○真の男女平等に向けて
○学校給食について
P.4

9. 新田 宏安
NITTA HIROYASU
●市内小中学校の衛生設備について
○防災組織について
P.7

8. 小林 剛
KOBAYASHI TAKESHI
●働き方改革について
○姫路市との交流について
P.6

7. 坂巻 文夫
SAKAMAKI FUMIO
○地区公民館について尋ねる
●少子化対策について尋ねる
P.6

12. 遠藤 正信
ENDO MASANOBU
●防犯カメラ設置計画について
○常総市の市道及び側溝の維持管理について
P.8

11. 中村 安雄
NAKAMURA YASUO
●福祉バスの運行について
○人口減少とそれに伴う諸問題について
P.8

10. 関 優嗣
SEKI MASASHI
●ごみ処理（一般廃棄物）について
○ポイ捨て条例（美化強化地域設定）について
P.7

15. 大澤 清
OSAWA KIYOSHI
●学校教育について
○空き家問題について
P.10

14. 堀越 輝子
HORIKOSHI TERUKO
○当市の財政を良くする取り組みについて市長に伺う
●常総市の観光施策について
P.9

13. 茂田 信三
SHIGETA SHINZO
●道の駅計画について
P.9

ずばり
市政を問う!!

●が今回掲載した質問で、本文中の固有名詞は、質問議員の意向により掲載しております。（質問事項を通告順に記載）各議員の質問内容の詳細は、スマートフォンからQRコードを読み取り、動画として見るすることができます。



国体までに整備は間に合うか？

きぬ総合公園の整備について



議員
きぬ総合公園の整備については、何度も質問しているが、手つかずのところも多くあり、このままでは荒れ果てた大変悲しい公園になってしまう。今後、2019年10月の国体に向けて、国体に向けた今後の整備について尋ねる。

都市建設部長
体育館については、ハンドボールの競技会場となっており、スポーツ振興課で実施する体育施設の整備、都市計画課では公園正面の駐車場舗装工事と多目

的広場を駐車場として整備する。また景観整備として水車台の撤去、劣化したベンチの更新工事で費用は7千万円超を予定。開催まで短期間であり、優先順位をつけ計画的に実施したい。

議員
この整備は国、県からの補助はないことだが、そのままたも要求しないのか。

都市建設部長
再度県にも確認したが、残念ながら補助はない。

市長
質問以外にも課題はたくさんある。都市建設部だけでなく教育委員会、県など関係する部署を交え、まずは国体に向けて整備できるところは積極的に推進協議をしながら進めていきたい。

議員
公園の顔である入り口の整備、各施設の整備、池の整備など公園全体が明るくなるよう前々から要望してきた。近くの公園がもう少しきれいに整備されていて、市民に愛される公園、また市を代表する公園なので、国体の整備にかかわらず普段から公園を活かしていただきたい。この公園を訪れる人が多くなるような取り組みを行っていただくよう強く要望する。

問 質 JOSOSHIGIKAYORI 問 質 JOSOSHIGIKAYORI 問 質 JOSOSHIGIKAYORI 問 質 JOSOSHIGIKAYORI



人口減！その施策は

人口減対策はあるか



いきいき住マイル支援補助金

住宅取得費用補助金	15万円～100万円
住宅改修費用補助金	10万円～50万円
固定資産税補助	対象住宅の120㎡分に相当する固定資産税の2分の1

※詳しくは、市民協働課までお問い合わせください。

ビジョン総合戦略において、近隣自治体へ転出した子育て世代を取り戻し、交流人口の増加から定住人口の増加につなげるため、当市らしい施策を掲げて各種事業を行っている。具体的には出産祝金の支給、不妊治療助成金及び妊婦健診助成などがある。若年夫婦世帯の住宅取得支援事業やいきいき住マイル支援補助、18歳まで対象年齢を拡大した、すくすく医療費支給事業などの子育て世代への支援を実施している。また広域連携の推進などを掲げ、魅力ある施策を進めているところである。

議員
人口減少の解消という中で、常総ふるさと市民制度、私はふるさとを愛する、懐かしむ心というのは日本人の文化であり、ここに住んでなくても市民になるということ、本当に素晴らしいと思っている。提案に当たり、市長の所見を伺う。

市長
広域連携はもちろん、あの人がいるから来てもらえるような人のふれあいも含めて、準市民ふるさと市民制度を有効に活用していくうえでも、議会の支援もお願いしたい。

議員
団塊の世代が後期高齢者になり、医療機関、介護施設の利用者が増大し、社会保障費も増大する。人口減少の影響により、税収不足が生じ、行政サービスの低下が目に見えている。これにより社会の支え手である生産年齢世代、15歳から64歳までの人口が少なくなり、人材の確保や人手不足の結果、社会機能の低下、経済低迷となる。市としては、どのようにこの問題を受け止め、対応するのか。

総務部長
まち・ひと・しごと創生人口

中村 博美 議員

岡野 一男 議員

議員 市の活性化および知名度アップ策は、広域行政的な見地から、民間活力も活用し地域の発展を試みてはどうか。市、県はPRが不得意と感じている。私案として常総総合フェスティバルの開催計画を提案する。これは1力所で開催するのではなく、関東鉄道の協力を得て、常総線を無料化し、民間企業を含めた沿線4市の至るところで物産展、お祭り、講演会、施設見学会を同時に開催する計画である。すでに4市の議員が今回の一般質

イベントがつなぐ広域連携

常総市の活性化及び知名度アップ策について



寺田 洋議員

問で同様の質問をすることになっており、プロジェクトチームを結成した。この提案に対する市の考えを伺いたい。

市長公室長

提案があつた常総広域圏4市と関東鉄道などの民間企業との連携したフェスティバルについては、近隣の自治体のみならず近県からの集客も見込まれ、人口交流、定住促進などさまざまな相乗効果が期待される。是非進めていただきたいと考える。

市長

広域連携の重要性が一番のキポイントで、他市町村との連携、まずはトップ同士の連携がなくてはならないと考える。広域連携の重要性は、各首長も認識しており、水害で協力をいただいた近隣市町村でもある。鬼怒川、常総線、この沿線の首長ともさまざまな取り組みを行いたい考えもあり、提案を実現すべく市も全面的に協力をしたい。

議員

この実現には、さまざまな関係者の協力を得る必要があり、当然最後は行政がやることになると思うので、市長が一番のリーダーとなることで、多いに期待している。実現に向けて前進できるようにお願いしたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI □ 殿 質 問

水害を教訓に

排水対策について



石川 栄子議員

つていたのか伺いたい。

都市建設部長

下館河川事務所からの出水情報や水位情報を確認しながら操作員と連絡調整を行い、緊急時に備えた体制をとっている。今後は八間堀川への流入水路に着目したタイムラインを作成し、国および県、土地改良区、周辺自治区の方々との情報伝達のシナリオなどを作成し、体制強化を図る考えである。

議員

国管理の八間堀排水機場の逆流防止水門の閉鎖が遅れたということが大きな原因の一つだと聞いており、改善策はあるのかまた、誰が見ても分かるような水位計を設置して欲しい。

都市建設部長

下館河川事務所の確認では、閉鎖するまでは順流で、八間堀川から鬼怒川に流れていたもので作業は行わずと聞いています。水位計は、今年中に県で樋管に設置すると確認している。

議員

タイムラインという言葉は何回も聞いたが、実際水の流れを止めたり、流したりするハード面の設備も必要である。国や県任せにせず、しっかりと対策を立ててもらいたい。



完全無料化に向けて

水海道有料道路の無料化について



などの渋滞緩和が図られ、一定の効果が出たと考える。

議員

問題は、有料になった橋の歴史で、渋滞緩和するために橋が必要であると市民を挙げて運動をおこした。当初は普通の橋として動いていたが、早く作ってもらえるから有料という話になった。今の有料化というのは、市の経済発展を抑えるし、渋滞によるストレスで健康状態が悪化する。市の税金で代替えするのではなく、県の道路公社に対して無料化を訴えるべきと思う。また、算出根拠はどのような形式か伺う。

都市建設部長

議員

6月より早朝6時から8時間の間、水海道有料道路の無料化がなされた。その動向で有料道路はどのくらいの交通量の変化が見られたのか伺いたい。

都市建設部長

無料措置期間における交通量は、県道路公社で実施している調査結果では、6月から10月までの5か月で平日の日平均通行量は、この2時間で1831台で、実施前と比較すると2.6倍となっている。有料道路へ転換したことにより、美妻橋、豊水橋



ふるさと納税で殺処分ゼロ！

野犬、地域猫対策について



経済環境部長

こうした状況から脱却するため、県では28年12月に茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例を制定し、譲渡犬猫サポート事業などの政策を展開している。市においても来年2月定例会議に（仮称）常総市動物愛護条例の提出を予定している。さらに動物愛護推進協議会を立ち上げ、県、獣医師会、動物愛護団体などと連携を強化し、殺処分ゼロを目指した施策を推進していく考えである。財源の確保については、先進地事例を参考に、ふるさと納税、クラウドファンディングなどの財源確保の方法について検討していきたい。

議員

27年度の統計で、県は犬猫の殺処分、全国ワースト2位であった。いかにして殺処分をしないで今後やっていくのか。今、ボランティアの方が犬猫の面倒を見ていてと思うが、支援のあり方を問題としたい。行政も対応していると思うが、大半のえさ代、避妊などそういうものに関してには善意あるボランティアや個人がその費用を出して対応している。現状はどのような状態になっているのか伺いたい。

議員

何をするにも財源が必要。保護するためのケージの確保にもお金がかかる。実際に今、えさ代、散歩、避妊に関しては愛玩者の善意に任せきりであり、これは改善しなくてはならない。行政も善意団体に任せきりではなく、管理していくべきと考えられる。名古屋市では目的を持った殺処分をゼロにするためのふるさと納税をお願いしている。善意ある方のふるさと納税や寄附といったものを活用することも必要ではないか。

堀越 道男 議員

中島 亨一 議員

出会いからはじまる少子化対策

少子化対策について尋ねる



坂巻 文夫 議員



議員

ふれあいサポート事業において、サポーターの方々は非常に頑張っている。このような状況の中、今議会でも補正予算に計上されているが、このふれあいサポーターの役割を伺いたい。

市民生活部長

この事業は、ふれあいサポーター連絡会が事業主体となり実施している。サポーターは現在15人、市長より委嘱を受け、未婚の男女の出会いの機会の提供や支援、相談を行うことを目的

に活動している。各団体との交流についても、サポーターと検討を行い、より充実した結婚支援活動を実施していきたい。

議員

近隣市町村との連携はこれまで実施していないということだが、これからは広げていくのが非常に大事であり、限られた中で行うよりもいいと思う。また、これまで以上にやりやすい状況をつくるためにも、財源を増額した方がいいと思うが予算要求は考えているのか。予算は要求するべきで、サポーターがやりやすい状況を職員が進めていかなければならないと思う。また、県とのつなぎはあったのか、ないのか伺いたい。

副市長

出会いの場の提供と結婚相談という大切な任務を担っている、茨城マリッジサポートセンターなどのコネクションを活用しながら、ふれあいサポーターがより活動しやすいように、いろいろな団体や他市町村間とも連携を図り、具体的にスピード感を持って進めたい。

議員

常総市に住めば、結婚できる、そういう考えのもとに頑張っていたきたい。

問 質 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 質 質 問

市役所はブラック企業!?

働き方改革について



小林 剛 議員

議員

法人にはブラック企業と言われるものがあり、地方自治法では、地方公共団体は法人とすることとなっている。これを踏まえたうえで、その認識を伺う。

総務部長

ブラック企業は、労働者に対し長時間労働、ノルマ、賃金不払いなどが横行する劣悪な環境下で労働を強いられるものと考えられる。公務員においてもサービス残業の常態化などもたえられることがあると認識している。

議員

今、ブラック自治体と言われる

ているところもあるようだが、休日勤務の振替などが90日ほど消化できない職員がいると聞いている。時間外勤務について、市の現状はどうか。

総務部長

時間外勤務は、職員より申請され、所属長の決裁を経たものは、すべて支給している。また規則では、休日・祝日に半日、あるいは1日出勤した場合には振替・代休による対応をしている。振替は、勤務命令の4週間前から8週間後の間、代休は8週間後に取得するよう定められている。部署間でばらつきがあり取得できないことも事実だが、ブラック性はない。

議員

そのような基準の中で振替が取れない職員は何人いるか。

総務部長

525人中、325人で61.9%の職員が取得できていない。

議員

振替が取れない状態を放置するのは問題である。休みか仕事か分からないような仕事をしていただのでは、能率が上がらない職員ははじめのなかで市民に奉仕するということではないのか。早急に改善していただきたい。



小中学校のトイレ改善拡充を

市内小中学校の衛生設備について



今後は子どもたちの衛生面や災害時には避難所になることを考慮し、トイレの洋式化や車いすの方が利用できる多目的トイレの設置を、学校の要望を聞きながら老朽化対策工事などと併せて実施していく。

議員

災害時などには、学校に避難し、必ずトイレは利用するので非常に大事である。また体育館のトイレは数が少なく、時期によっては並ぶことも考えられる。そのような要望はPTAからあがっていないのか。

学校教育課長

市内小中学校の衛生設備でトイレの改善や拡充について伺う。新築時やリフォーム時に和式のトイレをつける方は少ない。また、手すりをつけてくれといった保護者の方から要望などもあると思うが、その実態と取り組みはどうなっているか伺う。

議員

トイレの改修については、耐震補強工事の実施と併せて、洋式化や多目的トイレの設置などを実施してきた。現在、小中学校のトイレの洋式化率は48%で、

新田 宏安 議員

体育館のトイレの洋式化と目的化については、具体的に要望は聞いていない。現在、学校施設の長寿命化を計画しており、まだ当課の計画段階ではあるが、そのような機会を捉えながら順次進めていきたいと考えている。

議員

洋式で育った子どもたちが、保育園に入園して、和式は嫌だということなどで改善したという話や小学校に入学して和式だったので、トイレを我慢して帰ってきた子どもたちがいたという話も聞いている。そのような意見や要望を聞きながら、改善をお願いしたい。

問 答 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 答



市内は一つのエリア

ごみ処理（一般廃棄物）について



で決まったのか経緯を尋ねる。生活環境課長

会社の規模やこれまでの経緯、地域の特色などを鑑みて市と業者間で協議をして決定している。

議員

災害などが発生し、業務にあたれないといった、さまざまな事態の場合、リスク軽減の意味でも配分割合の大きな差の解消について、均等化に向けた協議検討といった見直しをする考えがあるか尋ねる。

議員

市に限らず、県内外の自治体も同様の状況と思われるが、リスクヘッジなどさまざまな状況に対応できる方法を研究していきたい。

議員

当市も合併し11年が経過し、北海道、石下という分け隔たりなく、常総市は一つのエリアとして配分割合の見直しを行い、均衡性を図っていくことを提案したい。市長の考えを尋ねる。

議員

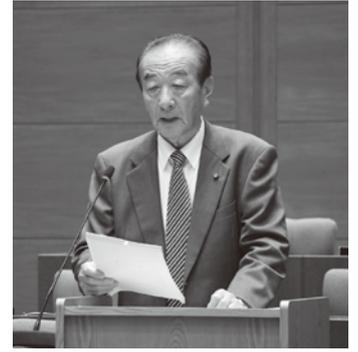
何かあった場合のリスクヘッジも含めて検討する時期になっている。常総市が一体となり総合的に市民の皆さんにとって一番いい形を模索しており、配分も含めて検討していきたい。

関 優嗣 議員



地域にあった交通手段

福祉バスの運行について



中村 安雄 議員

みらい市、守谷市、坂東市、下妻市の5市においてコミュニティバスを運行している。料金は乗車距離に応じ、200円から400円となっている。

議員

内容は異なるが、当市以外は運行しているという現状である。近隣における地域の状況や最も評価される方法について伺う。

総務部長

当市では7年ほどデマンドタクシーを運行しているが、市民からは、近隣で運行している福祉バスのほうが使い勝手がいいと聞いている。高齢化に伴い、免許返上となると、買い物や病院などに不便が生じるという問題がある。守谷市ではコミュニティバスなどを使い、市内を巡回させており大変喜ばれている。このバスを利用するには、財源の問題があると思うが、近隣の状況、料金などを伺う。

総務部長

近隣では、つくば市、つくば

当市では、福祉循環バスの利用者が年々減少傾向となつてきたことから、21年10月から予約型乗合交通の運行を開始した。また近隣の状況では、利用状況にかかわらずほぼ毎日同じルートを運行しなければならず、民間路線バスと比較すると1便当たりの平均乗車人数が少なく、この自治体でも費用負担が多く苦慮している。当市でも費用負担や集落点在地の状況などを踏まえると運行は困難であり、具体的な検討には至っていない。

議員

現在のデマンドタクシーの内容を変え、市民の期待に沿えるよう利便性のある配車、チケット購入の体制や財源を確保しながら満足のいく形をとっていただきたい。

■ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI ■ 殿 質 問



国体に向けた防犯整備

防犯カメラ設置計画について



遠藤 正信 議員

体育館及び県立水海道第二高等学校へは、全国から選手、競技関係者、観覧者など大勢の来場が見込まれ、現在国体実行委員会により具体的な警備計画と準備を進めているところである。特に水海道総合体育館には、一般観覧者の動線場所へのカメラの設置が必要であると茨城県警察本部より意見があった。この指摘事項を踏まえ、30年度設置に向けて努力している。

議員

具体的に指導があり、新聞に「県警が自治体に整備要請」と掲載されていた。国体会場となる74施設について防犯カメラの整備状況を調査した結果、72施設が未整備という状況である。水海道総合体育館にはカメラがつけられていると聞いたが現状は。

スポーツ振興課長

トレーニングルームの2カ所で、利用者の安全対策と事故防止などを目的に設置している。県警の指導を踏まえ、来年度に向けて予算要求する考えである。

議員

当初予算にしっかりと組み込み、来場者の記憶に残る大会運営とPRを行い、どうかこの機会を生かして当市をおおいにアピールしていただきたい。

教育部長

2年後のいきいき茨城ゆめ国体では、会場となる水海道総合



道の駅は本当に必要か

道の駅計画について



性化に向けた、にぎわい拠点の創出を目指すものである。管理運営は第三セクターへの委託や民間企業への指定管理などがあり、民間のノウハウを活用した管理運営が必要である。現在、基本構想・計画の中で方向性を整理し、メリットデメリットを踏まえ運営手法を選択していく。

議員

建設費はいくらかかるのか。市町村が投資している以上、必ずこれは公開しなくてはならない。全国の経営状況とお金の出どころは。

産業拠点整備課長

概算で最大約15億円と試算している。また全国概況での経営状況は、65%が赤字、35%が赤字である。委託方法など詳細はまだ決まっていない。

議員

市長の意気込みも分かるが、赤字の場合は誰が補填するのか。責任を明確にしないと大変なことになる。失敗した場合、誰が責任を取るのか。年間数百万の赤字では、建設資金の返済やメンテナンス費用を賄えない。この事業は非常に繊細であり、心配である。すべて民間でやるのであれば、もろ手を挙げて賛成する。

都市建設部長

この道の駅は、復興計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた計画で、地域活

茂田 信二 議員

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



世界を見据えた観光誘致を

常総市の観光施策について



光客の増加が予想される。現在、市観光物産協会で毎年開催される柴又での寅さんサミットをはじめ、年50回以上市内外の催しに参加しPRに努めている。広域的には取手市、つくばみらい市、関東鉄道と常総地方観光促進協議会を設け共同でパンフレットなどを作成しPRをしている。今後はPRの強化や環境美化に努め、国体などに合わせイベントの開催も検討していく。

議員

観光客がどこで食事をするのかといってもグルメマップがない。史跡などを巡るにしても、坂野家などガイドブックに紹介されている場所に休憩所やお茶を飲む所もない。今後インフラ整備の計画はあるのか。

経済環境部長

外国人対応も考え、パンフレット、案内板の多言語語化、休憩のベンチやあずまやなど、国県のインバウンド関係の補助事業を活用して整備に努めていく。

議員

財源の確保としても観光客の誘致は効果が高いと考える。常総市のいいところを多くの方に知っていただき喜んでもらい、市民が経済効果を楽しんでくれるような取り組みを要望する。

経済環境部長

当市でも圏央道常総IC周辺整備事業を進めており、今後観

堀越 輝子 議員



いじめのない学校教育を！

学校教育について



大澤 清 議員



議員 文部科学省でまとめた調査結果では、いじめの認知件数が全国で32万3808件と過去最多との発表がなされた。そのような中で、市内の小中学校でのいじめの認知件数について伺う。

教育長 28年度、小学校で646件、中学校で250件であり、これはその前年度から倍増している。内容では、冷やかしの悪口などが半数以上、そのほか誹謗中傷といったもの。この増加については、いじめのとりえ方が変化

していることも背景にある。

議員 予想どおりであるが、先生や友達、家に帰っても家族にも相談できず、ひとりで悩んで自殺に至るケースが多いと認識している。当市におけるいじめ対策について具体的な内容を聞かせていただきたい。

教育長

取り組みでは、いじめに関するアンケートや教育相談の実施集会での啓発や道徳の授業での指導も重ね、手厚く行っている。対処では、いじめを防止するための組織を置き、被害、加害児童生徒に対する支援、指導を組織的に行っている。議員がいう自殺であるとか、いじめを原因とする長期の不登校、そういったことを重大事態ととらえている。これらを踏まえ現在、防止対策委員会を設置する準備を進めているところである。

議員

子どもたちの教育で重要なことは、学校教育、家庭教育、地域の理解と考えている。現在、学校では処遇や労働時間の改善などの問題が起こっている。どうか政策によって教育現場の改革といじめ問題が解消されることを切に願う。

□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI □ 殿 園 圃

平成29年11月定例会議

審議結果

29年常総市議会(11月定例会議)が、11月29日から12月15日までの17日間の日程で開かれました。

今定例会議には、平成29年度一般会計補正予算を含む議案18件を市長が提出。初日の本会議で提案理由の説明があり、後日、議案質疑を行い、各常任委員会、予算特別委員会に付託され、各委員会(分科会)において詳細に審議がなされました。

最終日には、市長から人事案件1件が追加提出され採決の結果、補正予算を含む議案18件が原案どおり可決・同意了承されました。

また、請願1件・陳情1件については、それぞれ採択されました。そのほか、8月定例会議に議会改革特別委員会に付託された常総市議会議員定数削減の陳情については不採択となりました。審議された主な議案は次のとおりです。

議案第44号

じょうそう未来創生プラン(常総市総合計画)基本構想の策定について

この基本構想は、将来における

本市のあるべき姿と進むべき方向の基本的な指針として策定されました。このプランは、まちづくりや地域経営の最上位に位置づけられる計画で、関東・東北豪雨災害からの復興に向けてつくられた「常総市復興計画」や地方創生への取り組みとして「常総市人口ビジョン 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連携を図った内容で、近年の環境変化や情勢に対応した市全体の方向性を示す計画となっています。

議案第56号

平成29年度常総市一般会計補正予算(第4号)

この補正予算の総額は、4千7百58万6千円の増額で、予算規模は、2百31億3千9百5万8千円。主な内容は、人事院勧告に伴う給与改定や期末手当・勤勉手当の引き上げ、退職予定者の増による負担金の増額などの人件費の調整です。また、いきいき住マイル支援補助金の申請者の増加による費用や市の独自施策である、被災住宅再建支援金の計上となりました。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	議案名	関	大	坂	寺	堀	小	新	倉	坂	中	岡	遠	中	茂	喜	石	水	中	堀	風	審	
		優	澤	野	田	越	林	田	持	卷	村	野	藤	島	田	見	川	野	村	越	野	議	
		嗣	清	茂	洋	輝	剛	宏	守	文	博	一	正	亨	信	山	栄	昇	安	道	之	結	
																						果	
議案第42号	常総市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	常総市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第44号	じょうそう未来創生プラン（常総市総合計画）基本構想の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	常総市地方広域市町村圏事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第46号	常総市印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	常総市税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	常総市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	指定管理者の指定について （常総市児童デイサービスセンター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	指定管理者の指定について （常総市心身障害者福祉センター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号	指定管理者の指定について （常総市水海道児童センター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	指定管理者の指定について （常総市三坂児童館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	損害賠償請求事件に関する和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	市道の路線の廃止について（西925号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	常総市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	平成29年度常総市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第57号	平成29年度常総市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第58号	平成29年度常総市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第59号	常総市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（浅野宏美氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願第4号	関東鉄道常総線路下横断の排水溝拡張及び下流域（千代田堀まで）の排水溝整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第2号	常総市議会議員定数削減の陳情について	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	不採択	
陳情第3号	市道1-0234号線築地地内の道路改修陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》
12/7 本会議 水野昇(早退)

議会運営委員会

視察研修

11月9日に、長野市議会において議会運営及び議会改革について（長野市議会を取り組んでいる先進的事例等について）をテーマとした視察研修を実施しました。

特に議会改革については活発な議論が行われ、当市議会にとっても大変参考となる研修となりました。



インターネット映像配信中!!

本会議の生中継(LIVE)をインターネットでご覧いただけます。生中継を見られない場合でも、録画映像(VOD)をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

詳しくは映像配信ページをご覧ください。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp/>

スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。



QRコード

【アクセス方法】

市ホームページ
↓
常総市議会
↓
議会映像配信



2月定例会議日程(予定)

- 2月28日(水) 第18回会議(本会議)
- 3月6日(火) 第19回会議(一般質問)
- 3月7日(水) 第20回会議(一般質問)
- 3月8日(木) 第21回会議(一般質問)
- 3月9日(金) 第22回会議(一般質問)
- 3月12日(月) 予算特別委員会
- 3月13日(火) 予算特別委員会
- 3月14日(水) 予算特別委員会
- 3月15日(木) 常任委員会(分科会)
- 3月16日(金) 常任委員会(分科会)
- 3月19日(月) 常任委員会(分科会)
- 3月22日(木) 第23回会議(本会議)

※正式な日程は2月下旬に開催される議会運営委員会で決定されます。

議長のひとこと

関東・東北豪雨で被害を受け、避難されていた全ての方々が昨年未、無事市内に戻ることができました。鬼怒川の堤防も急ピッチで工事が進み、大生公民館も竣工となりました。夢中で歩んだ2年余、これからも市民の負託に応える議会でありたい...



常総市議会議長 風野芳之

編集後記

本年の干支は十一番目「戌年」です。大地に種をまき顔を出した芽に気をかけ、手をかけて育て成熟した作物をしっかりと収穫する年だそうです。そしてまた、平成という元号で一年を過ごす最後の年でもあります。

様々な想いを胸に過ごす一年になることでしょう。

私たち議会だより編集委員としても、2年目を迎えます。市民の皆様により見やすく、よりご愛読いただけるよう今号より一般質問の各質問者の欄に、QRコードを記載しました。読み込んでいただくと直接録画映像をご覧いただくことができます。

是非、お試し下さい。

議会だより編集委員会

- ・委員長
- ・副委員長
- ・委員

- 倉持 守
- 堀越 輝子
- 関 優嗣
- 大澤 清
- 坂野 茂実